

⑮ 国道179号徳久^{とくさ}バイパス道路改築事業

キーワード 渋滞緩和、沿道環境改善、現新道機能分担、コスト削減

全建賞審査委員会の評価ポイント

兵庫県内のJR姫新線播磨徳久（きしんせんはりまとくさ）駅周辺における国道179号の慢性的な交通渋滞を解消するとともに、沿道生活環境の改善を図るため、トンネル、橋梁部を含む全長約1.3kmのバイパスを新設した事業。

バイパス整備に際して、バイパス路線と現道区間の交通機能を分離させ、バイパスのトンネル施工費用の縮減と現道の機能の強化を図ることにより、結果として限られた予算の中で、大きな効果を得られた点が評価された。

1. はじめに

一般国道179号は、兵庫県姫路市を起点に播磨西北部・岡山県津山市を經由し、鳥取県東伯郡湯梨浜町に至る、播磨地域の産業経済活動や近隣県との交流連携を支える幹線道路である。

また、災害発生時には復旧・復興の動脈となる「緊急輸送道路」に指定されている路線でもある。

しかしながら、当該区間は沿道に人家・商店が密集し車道幅員が狭く、播磨徳久駅前交差点では朝夕の交通渋滞が慢性化するとともに、歩道未整備区間では中・高生等通学者が危険な状況であった。さらに、大型車が多く沿道の生活環境の悪化も著しかったことから、これら問題を解消するため、本バイパス事業に着手した。

2. 事業の概要

全体事業費：約23億円

事業期間：平成22年度～平成28年度

事業箇所：佐用郡佐用町下徳久

事業延長：道路改築（バイパス）L=1,260m

道路幅員：全幅W=8.75m（車道部W=6.5m）

主な構造物：トンネルL=571m、橋梁L=47.7m

現道部：路肩拡幅



一般国道179号徳久バイパス概要図

受賞機関 兵庫県 西播磨県民局 光都土木事務所

3. 事業の成果

事業実施にあたり、現道を最大限活用する観点から、沿道住民ほか歩行者・自転車は現道を、通過自動車はバイパスへと分離計画とした。この結果、バイパスに自転車歩行者道を設置しないこととし、トンネル断面を約3割縮小、約3億円のコスト縮減を果たした。

事業完成後は、10,000台/日を超える交通量の大半がバイパスに転換し、朝夕慢性的に発生していた徳久駅前交差点の交通渋滞が完全に解消された。

現道では側溝や開水路の蓋がけにより新たな歩行空間を生み出し、通学利用者の安全・安心が確保された。また、自動車の騒音も低減され、沿道の良好な生活環境を実現することができた。

さらに、耐荷力不足であった橋梁の架替えも同時に実施したことにより、緊急輸送道路としての強化にもつながる結果となった。



一般国道179号徳久バイパス完成写真

4. おわりに

佐用町は、平成21年8月の台風9号による記録的豪雨により、20人もの尊い命が失われるなど甚大な被害を受けた。

兵庫県では地域の方々をはじめ、多くの関係機関のご協力とご支援を受けながら河川改修を中心とした復興事業に全力で取り組んできた。そんな中、創造的復興事業として取り組んだのが本バイパス事業であった。

現在では、見事に創造的復興を果たした佐用町であるが、二度と同じような大きな被害を生じることがないことを祈り、今後も計画的に道路ネットワークの整備・強化を図っていきたい。

賛助会員 大成建設㈱